

さくら市 議会だより

令和2年2月1日

No. **60**
2020年

ちょっと
いい!
さくら市



《市民すべてが、暮らしやすいと実感できる魅力あふれる「さくら市」を目指して》

八方口地区「どんどん焼き」

目次



- ◆ 第3回定例会のあらまし …………… 2
- ◆ 各常任委員会（総務・文教厚生・建設経済）3～5
- ◆ 一般質問ここが聞きたい …………… 6～15
- ◆ 議会レポート・議会の動き …………… 16
- ◆ 台風19号による被災箇所現地視察 ……17
- ◆ 議会全体研修報告 …………… 18
- ◆ 総務常任委員会視察研修…………… 19
- ◆ 文教厚生常任委員会視察研修…………… 20
- ◆ 建設経済常任委員会視察研修…………… 21
- ◆ どうなったんべ あの質問は …………… 22
- ◆ 議会だよりリニューアルの歩み…………… 23
- ◆ 市民の声・次回の定例会の予定 …… 24



災害の早期復旧に向けて

第3回 定例会のあらまし

令和元年第3回定例会が11月29日から12月16日まで開催され、令和元年度一般会計補正予算等の議案19件、追加議案6件、追加諮問1件を審議し、原案通り可決、承認、同意しました。一般質問では10名が市政について問いました。

専決処分（一般会計補正予算）



〇畜産振興事務（豚コレラ対策）
1,615万円



〇災害復旧
7億7,779万2千円

令和元年度 補正予算の概要

会計区分	補正額	予算総額		
一般会計	(第6号)	1,615万円	185億9,719万3千円	
	(第7号)	7億7,779万2千円	193億7,498万5千円	
	(第8号)	7,310万5千円	194億4,809万円	
	(第9号)	1,031万6千円	194億5,840万6千円	
国民健康保険特別会計(第1号)	1,812万7千円	43億6,351万7千円		
後期高齢者医療特別会計(第1号)	4,252万8千円	4億6,610万8千円		
介護保険特別会計	(第3号)	4,676万9千円	32億6,343万円	
	(第4号)	21万4千円	32億6,364万4千円	
水道事業会計(第1号)	資本的支出	3,379万4千円	9億5,966万8千円	
下水道事業会計	(第2号)	収益的支出	458万3千円	10億1,682万2千円
		資本的支出	1万8千円	10億4,375万2千円
	(第3号)	収益的支出	11万8千円	10億1,694万円
		資本的支出	14万円	10億4,389万2千円

第3回 定例会に上程された主な議案

〇さくら市市民活動支援センター条例の制定について



〇さくら市氏家地区農産物直売所条例の一部改正について



〇財産の処分について 〇指定管理者の指定について



氏家図書館



喜連川図書館

人権擁護委員候補者の推薦

〇佐藤 淳子 氏（上阿久津）

●会議結果・賛否の公表については市HPをご覧ください

「さくら市ホームページ→さくら市議会→定例会」



総務常任委員会

◎鈴木 恒充 ○若見 孝信
大河原 千晶・岡村 浩雅・永井 孝叔・渋井 康男

議案第2号 さくら市市民活動支援センター条例の制定について

- Q 運営委員会の設置時期、開始時期は。
- A 設立は条例成立後速やかに行う予定であるが、前段として準備委員会を設置し、想定する委員と開設後の活動について相談を始めたい。
- Q 市民活動支援センターで講座などを開く場合、料金を徴収することは可能か。
- A 講座を行う際の必要経費の徴収であれば可能。

議案第3号 成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

原案通り可決。

議案第10号 令和元年度さくら市一般会計補正予算（第8号）〔所管分〕について

- Q 今後もオリンピック・パラリンピックに関する支出はあるのか。
- A 今回の補正は、聖火リレーの実施に関するもので、来年度についてはハンガリートライアスロンの事前キャンプ関連の予算を要求する予定。
- Q 債券等売却益に関して、現在運用している債券はあるか。
- A 5億円売却したが、今年度現在までに7億円買い足したので30億円の債券を保有している。

議案第16号 財産の処分について

- Q 土地の処分価格は借地権割合を加味しているか。
- A 30パーセントを加味し調整した金額である。

《現地調査》

- 塩野谷農業協同組合喜連川菌床センター（JAへ売却）
- 和い話し広場（JAより購入）



文教厚生常任委員会

◎福田 克之 ○高瀬 一徳
石原 孝明・石岡 祐二・角田 憲治・小堀 勇人

議案第10号 令和元年度さくら市一般会計補正予算（第8号）[所管分]について

- ◎ 学校給食調理場建設事業について、以前から議論している内容が事業に活かされているのか。
- ◎ 学校給食調理場の建設候補地は、鷲宿運動場跡地と考えてよいのか。
- A 施設の能力や規模において、どのような施設が最良であるのかを、以前実施したPFIの可能性調査や議会から出た意見等を参考に、具体的な基本計画案を作成したい。
- A 第1候補地として鷲宿運動場跡地を予定しており、今回の測量業務を踏まえて、土地の使い方、地域への開放など十分検討した上で基本計画案に盛り込み議会に提案したい。

議案第11号 令和元年度さくら市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について

原案通り可決。

議案第12号 令和元年度さくら市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について

原案通り可決。

議案第13号 令和元年度さくら市介護保険特別会計補正予算（第3号）について

原案通り可決。

議案第18号 指定管理者の指定について

- ◎ 共同事業体である、大高商事と図書館流通センターとの業務の役割分担は。
- ◎ 共同体の構成業者間で、それぞれの施設を分け合って管理している事例が他市町で見受けられるが、そのようにできないのか。
- A 大高商事が総括と施設管理に関する事で、図書館流通センターが図書館の運営に関する事を行っている。
- A 一施設の中で相互に業務分担しているので難しい。

《現地調査》

- 認知症サポーター養成講座
- 喜連川中学校（タブレットを活用した研究授業）



認知症サポーター養成講座



喜連川中学校

建設経済常任委員会

◎櫻井 秀美 ○笹沼 昭司
吉田 雄次・加藤 朋子・手塚 定・矢澤 功

議案第5号 さくら市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

- ◎ 空家等対策審議会委員の報酬において、弁護士の方が日額15,000円、その他の方が7,300円となっているが額の根拠は。
- A この条例ですでに同様の定めがあるので、それらを参考にした。

議案第8号 さくら市氏家地区農産物直売所条例の一部改正について

- ◎ 施設直営の可能性があるから職員を置くという考えなのか。
- A 将来的には指定管理を想定しているが、その移行準備期間中の対応策として職員を置くものである。

議案第10号 令和元年度さくら市一般会計補正予算（第8号）[所管分]について

- ◎ 歳入の農林水産業使用料195万円の追加補正の内容は。
- ◎ JAへの土地売り払い及び購入に伴い、歳入の不動産売り払い収入と歳入の土地購入費がそれぞれ減額補正となっているが、実際の売買金額はいくらか。
- A 菜っ葉館を占有利用した方から売り上げの1.5%を徴収していたが、1月から直営になるため15%に変更し、そのため増額が見込まれるから。
- A 喜連川菌床センターのJAへの売り払い額は3,760万円、市が買収する和い話広場の土地価格が3,165万円である。

議案第14号 令和元年度さくら市水道事業会計補正予算（第1号）について

- ◎ 未普及地域解消事業の工事請負費で、現地の埋設調査が出来ていないのは、横断図がないということか。
- A 土地改良事業の施工完了の箇所では、従前の横断図がないことから掘削しないと埋設物が確認できない。

《現地調査》

- 上阿久津台地
- 南小学校学童保育施設工事箇所
- 上松山小学校増設工事箇所



南小学校学童保育施設工事箇所



上松山小学校増設工事箇所



福田 克之 議員



Katsuyuki Fukuda

さくら市の※SDGsについて(環境に関する取り組みについて)

▶ 実証実験を行ない、普及拡大を進めたい

Q 栃木県及び県内全25市町による森里川湖プラごみゼロ宣言のさくら市での取り組みは。

A 生分解性プラスチックを原料としたストローの実証実験を道の駅で行なった。

生分解性プラスチック製品には価格が割高など課題もある。今後も実証実験を行ない、普及拡大を進めたい。

一方学校では、環境教育の場がSDGsの目標達成につながると考え、ごみの理解、環境への影響、地球に優しい生活を意識できる教育を進めていきたい。



※SDGs「(エスディーゼーズ)」

「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月に国連で決められた、国際社会共通の目標。

さくら市の臨時職員の対応について

Q 2020年度からの「会計年度任用職員」制度導入の取り組みは。

A 会計年度任用職員への移行に向けての調査を実施し、各所属との調整を開始した。

どの自治体も一斉に移行するため、他自治体との情報を共有し対処したい。フルタイムの会計年度任用職員については期末手当及び退職金の対象となり共済負担金も含めて人件費が上昇する。

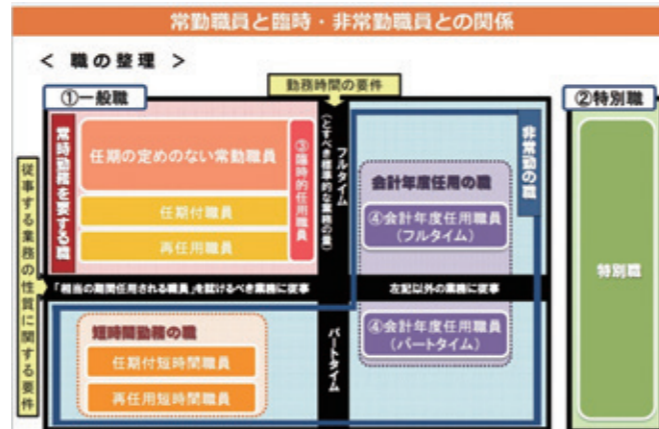
今後、職のあり方について毎年度見直し、必要な人数、時間等について精査を行なっていく。

さくら市のイベント整理について

Q 働き方改革の観点からの取り組みは。

A さくら市においては、主なイベント(行事)だけで年間約80におよび、活発に行なわれており、本市の良さの一つと認識している。しかし、同じ市民が複数以上のイベントを支え、市職員が連続するイベント開催の中核を担っている場合も多い。

今後、開催手法について、運営側と参加者側双方に配慮した対応に努め、集中する期間のイベントのあり方について模索し、休日出勤が集中する職員の働き方改革についても配慮したい。



岡村 浩雅 議員



Hiromasa Okamura

台風19号への対応を検証する

▶ 避難所の開設判断と避難所情報の周知は再考が必要

Q 避難勧告、避難指示を出すタイミングは適切であったか。

A 地域防災計画により即時に判断して、遅滞なく発令できた。

Q 避難所開設は誰がどのように判断するのか。また避難所開設の情報提供及び市民への周知は。

A 市が開設するものについては災害対策本部において決定する。また、自主防災組織が自主的な判断で開設する場合がある。

情報提供については、防災行政無線、防災メール、ホームページ、データ放送、ツイッター等で行った。しかし、避難所の開設判断と避難所情報の市民への周知については、再考の必要性を感じている。



より効果的な「発達障がい」に対する支援

Q ライフステージごとの「発達障がい」に対する現在の連携状況及び問題点は。

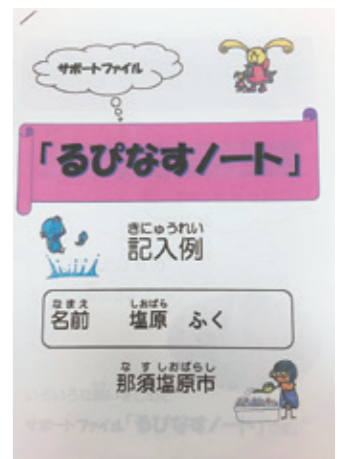
A 現在、新生児から幼児期までは、健康増進課、こども政策課、福祉課や保育施設等の関係機関が協力し、幼児期から思春期は、学校教育課、各小中学校が加わり様々な事例に取り組む。その中で情報を共有し連携を図っている。問題点は、個々の課題が異なるため、臨機応変に対応することが容易ではないこと。また、保護者の理解や同意が得られない場合に適切な療育支援につながらないことである。

Q 「発達支援システム」の本市への導入について。

A 導入にはセキュリティー面を含め、十分な検討が必要である。

今後、各生活段階において必要な情報をつなぐための個人のプロフィール、特性、生育歴、受診歴、相談・成長の記録等を記した個別支援ファイルを作成すべく、さくら市地域自立支援協議会専門部会で検討を開始した。

那須塩原市発達支援 サポートファイル 「るびなすノート」



その他の質問 ○下水道受益者負担金への疑問



若見 孝信 議員



Takanobu Wakami

防災対策について

▶ 御用堀の復旧は検討中

Q 「御用堀」の取水口である松西^{げき}堰が被災したが、今後の対応は。

A 「御用堀」については、歴史的・観光的な要素を兼ねた重要な堀であると認識している。取水口である松西堰については台風19号で被災し、現在は取水ができないため、この冬の「御用堀」への通水継続は難しい状況である。流域行政区には10月下旬に回覧でお知らせしたが、現時点では、復旧工事の時期や方法がまだ確定していないため、それらの状況を見極めた上で、今後どのような対応が可能か、関係する方々と相談しながら検討していく。



御用堀

Q 災害時の防災士の役割は。

A 日頃から地域の皆さんと顔の見える関係を築いて、自主防災組織の中心的な役割を担う活躍を期待している。

Q 稲わらの撤去と集積場は。

A 農水省の補助事業で、稲わらは1㎡当り上限5,000円で決定。

集積場は菖蒲沢公園か、河戸小学校を予定している。

※現在は菖蒲沢公園のみで実施。

企業誘致の推進について

Q 実績と具体的な効果は。

A 市長就任後、新たに11社の企業が本市に立地し、その内6社からは合計約1千万円の納税があった。

Q 新たな産業団地の造成は。

A 喜連川工業団地の隣接地や、土地利用調整基本計画における工業誘導ゾーン指定地域を中心に、今後地権者の意向調査を実施する予定。



その他の質問

○公共施設総合管理計画（ファシリティマネジメント）の進捗状況と今後の取り組みについて



吉田 雄次 議員



Yuji Yoshida

台風19号の対応について

▶ 防災・避難対策等検証会議の設定を

Q 対策本部からの通知連絡、報告および避難場所の周知が不鮮明であり、対応の検証と今後の訓練が必要と思われるが。

A 防災・避難対策等検証会議を開催し、今後の対策に活かすべく、最大限注力していく。今度も検証を踏まえながら、より実効ある訓練の実施を図っていく。

Q 防災無線が聞こえない、もしくは聞こえにくいという話を聞くが。

A 平成28年度に制度を見直し、自主防災組織の代表者、要支援者がいる世帯や、75歳以上のみの世帯も対象に加え、戸別受信機の無償貸与を行っている。

Q 電話が繋がらなかったという話を聞くが。

A 今後は回線の増設を図っていく。

Q 避難所の非常用の備蓄品の点検状況は。

A 救命具は消防署に救助用54着を保持しており、食料はご飯6,000食、カレーライス2,300食、ソフトパン5,500食、水4,800本を備蓄している。毛布については、550枚を保管しているが、備蓄数を増やす必要性を感じている。

Q 高齢の方、あるいは耳・身体の不自由な人への対応について。

A 災害時要支援者の台帳への登録や個別支援計画への登載もお願いしている。



台風19号による被災場所

保育園の待機児童について

Q 現在の状況で30名以上の待機児童がいる。費用面についても10月より無償化になり増えるのでは。

A 今般、氏家幼稚園が認定こども園に移行することに伴って保育定員が76名増え、箱森新田地内に新たな保育園が建設中であるため、来年4月時点では待機児童数ゼロを実現できる見込み。





渋井 康男 議員



QRコード
(動画配信)
YouTube

Yasuo Shibui

安心・安全なまちづくりについて

▶ 災害における災害防止・復旧対策

Q 喜連川地区を流れる荒川の堤防決壊や越水に対する、安心を確保できる具体策は。

A 河川の現状把握や今後の整備における検討資料作成のために、連城橋上下流の現況調査測量を県が行い、その結果に基づいて協議を進め、安心できる河川整備に向けて、具体的な施工内容について県に要望していく。

さらに那須烏山市など流域市町と、荒川圏域河川整備計画の具体的な見直しをして、一層早急な施工について強く要望を行っていく。



台風19号による被災箇所

Q 江川の拡幅に対する県・市の対応は。

A 拡幅工事については、予定地における一部地権者の同意が得られていないのが現状で、工事着手に至っていない。今回の被災を、新たな機会と捉え、改修工事の早期実現に向けて積極的に取り組んでいく。



台風19号による被災箇所

Q お丸山東斜面の土砂崩れ防止対策は。

A お丸山については、かつて南側斜面の大崩落があり、安全性への懸念から、震災後の平成25年度に、お丸山公園東側斜面において調査を実施した。

各調査の結果、南側斜面で発生したローム層内での崩壊と同様なものは発生しがたいと推察された。

このことにより、東側斜面については倒木の恐れがある樹木の伐採、法面樹木の樹高調整のための強剪定、園路整備に併せた転落防止柵の設置を実施した。

今後は、景観や植生に配慮しながら維持管理に努め、状況により部分的な法面補強等、予防的な対策を図っていく。



笹沼 昭司 議員



QRコード
(動画配信)
YouTube

Shoji Sasanuma

農地・農業施設災害復旧工事の補助残について

▶ 国庫対象外単独工事補助率をかさ上げ

Q 6億8千万円ぐらいの農業被害が出ているが自己負担割合は。

A 激甚災害指定における過去5年の補助の実績は農地で95%、農業用施設が98%であり、残りが自己負担となるが、そのうち市は2分の1を補助している。

補助対象外の事業費10万円以上40万円未満の災害復旧は、激甚災害の場合、補助率を75%にかさ上げした。

Q 稲わらの処理についての支援は。

A エコパークしおやに持ち込む場合、市の依頼書の写しがあれば、無料。また農家等が集積所まで搬出する経費は1㎡当たり5,000円を上限に支援をする。



稲わら集積所



稲わら処理と排水路復旧

給食費の公会計化について

Q 学校給食費の公会計化により見込まれる効果や推進に関する見解は。

A 学校の負担軽減は大きく、給食センター稼働にあわせ公会計化の検討を進める。

さくら市のSDGsについて

Q SDGsは、国連で合意した貧窮や格差、環境保全、教育、平和などに関する17の開発目標である。その認識と総合計画について、SDGs視点も取り入れて検証してみては。

A 国連版進化プランと考えるもので、来年度は総合計画後期計画、まち・ひと・しごと総合戦略などの改定作業があり、SDGsの理念を取り入れながら計画策定に努めていく。

消防車両の更新について

Q 現在、オートマチック限定普通自動車第一種免許を取得する者が多いが、3.5トン以上の消防車両は運転することができない。オートマチックと準中型免許が必要な3.5トン以上の消防車両の割合、免許取得費用の補助は。

A オートマチック80%、3.5トン以上の車両は消防ポンプ車17台で68%。免許取得の助成制度は研究していく。

その他の質問

○今年度の予算執行状況と来年度の重要施策について



加藤 朋子 議員



QRコード
(動画配信)
YouTube

Tomoko Kato

交流人口倍増計画、進捗状況と展望は

▶ 魅力ある地域づくりに取り組んでいく

Q 進化プランにおける「交流人口倍増計画」の進捗状況と今後の展望は。観光客入り込み数の推移と目標は。

A 平成30年の観光客入り込み数は189万5,294人で、2.7倍を達成。道の駅きつれがわの集客効果が大きい。

Q 通過型から滞在型へと誘導する宿泊設備の充実。民泊を積極的に導入してはどうか。

A 宿泊施設の充実、滞在時間延長と経済効果に期待できるため、工場誘致条例の奨励金対象業種に、ホテルなどの宿泊施設を加える方向で条例改正の準備を進めている。イベント等にも対応できる宿泊のあり方について民泊も含めて早急に検討したい。

Q オリンピック、ワールドカップへの対応は。

A オリンピックでは、栃木県と連名でハンガリーのホストタウンに登録された。ワールドカップ（フットゴルフ）では、選手の宿泊先はイベント主催者が確保する予定だが、同行家族、関係者の宿泊先は、本市での確保に取り組んでいきたい。



フットゴルフ

Q さくら市式グリーンツーリズムの現状と今後は。

A 一般社団法人きつれがわが2015年から活動している。グリーンツーリズムは、本市の農業振興、観光振興、地域振興策に繋がるので、積極的な取り組みを展開していく。



利水、治水をどう進めるのか

Q 五行川の冬水の現状は。

A 鬼怒川から市の堀、草川用水に毎秒2トンの取水があるが、五行川へ通水するには量が足りない。仮に毎秒1トン程度の取水をすると、湯西川ダム建設時の水利権から200億円程度が想定される。

非かんがい期農業用水事業を鬼怒川中部土地改良区連合に働きかけたが、費用負担や管理費用の点で関係7市町村の合意を得るのは非常に困難であるとのことであった。



永井 孝叔 議員



QRコード
(動画配信)
YouTube

Takayoshi Nagai

「ふるさと納税」による財源確保をどう図っていくのか

▶ 魅力ある返礼品と寄付金窓口の拡充

Q 「ふるさと納税」による財源確保をどう図っていくのか。

A 魅力ある返礼品の拡充に取り組み現在156種類まで増えた。また寄付金の窓口拡充として、「楽天ふるさと納税」と「ふるさとチョイス」のポータルサイトを開始し、平成27年度の寄付件数60件、寄付金額約1,000万円から平成30年度は件数2,400件、金額2,800万円まで増加した。

一方、さくら市民の他自治体への寄付により市民税が3,100万円減少し、赤字となった。財源確保のみならずさくら市情報発信の側面もあり、最大限の効果が得られるよう取り組んでいく。

Q さくら市のふるさと納税寄付額が268万9,000円の赤字に対し、矢板市では3億6,729万7,000円の黒字。この差は。

A 指定制度施行前で、地域特産品でない返礼品、返礼率も5割だったためと考えられる。本市は制度の趣旨に沿うことを原則としておりその差が生じた。

Q 本市は行政改革推進計画を持たない稀有な自治体であるが、どのように推進しているのか。

A 行政改革大綱の上位にあたるものが総合計画であることを鑑み、第2次総合計画に行政改革に関する施策を盛り込んでいる。現実に他自治体の大綱よりも中身が充実している。

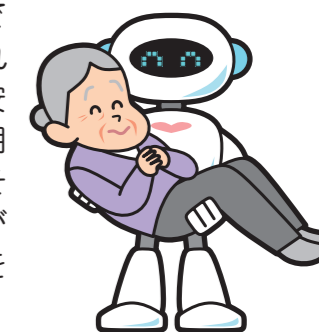


行政改革大綱（下野市）

※AI・※RPAの活用について

Q AI・RPAの活用について今後どう取り組んでいくのか。

A 行政改革、働き方改革の視点からも導入の検討が必要。ただし、導入経費が高額。全国的にAI・RPAでの業務が拡大すれば、導入経費も安価になることが期待されるので、それらを見極めながら試行的に導入を進めていきたい。



その他の質問

○令和元年台風19号被害に対する対応について

※AI
言語の理解や推論、問題解決などの知的行動を人間に代わってコンピューターに行わせる技術のこと。

※RPA (Robotic Process Automation)
複数のアプリケーションを連携した操作、表示した画面の内容を確認して入力する作業など、今まで人手で行っていた事務作業を、ソフトウェアロボットが代行するもの。



角田 憲治 議員



Kenji Kakuta

再任用制度の現状と今後の対応について

▶ 新たな時代に即した適正な職員体制の構築に取り組む

Q 再任用制度の今日に至るまでの状況は。

A 平成26年度から今年度まで、技能労務職を除くと54名の定年退職者中33名、約6割を再任用職員として任用している。

Q 再任用職員の職務（基準）と賃金は。

A 役職は副主幹で再任用職員給与表4級、額面27万4,600円を充てている。

Q 再任用職員への聞き取りは。

A 毎年欠かさず意向調査及びヒアリングを実施し、次年度職員配置の参考にしている。

Q 再任用制度の運用についての課題は。

A 豊富な経験と力量を有した職員の能力を最大限活かすための配置や職務が課題である。また、役職や等級についての見直しの必要性がある。

Q 今後の対応策は。

A 詳細な検討を行い、幅広い役職及びそれに応じた給与の等級の導入等についても考察していく。

※ホスピタリティ
おもてなし。

商店街の景観・※ホスピタリティ向上事業について

Q 事業の目的はなにか。

A 商店の売り上げ1.1倍である。

Q 業務委託にするにあたっての基本的考え方は。

A このまちづくり理論の提唱者が堀繁教授であり、その本家本元に直接委託をする事業として本業務の委託を実行している。

Q 商工会等との充分なる事前協議はされたのか。

A 本事業については、商工会事務局と担当課とで協議を重ねた上で決定したものである。

Q 現状までの成果は。

A 店前景観デザインの作成は、氏家、喜連川両地区合わせて13軒、氏家地区で8軒、喜連川地区で5軒の応募があった。

Q 今後の対応は。

A 今年度作成をした店前景観デザイン13軒、店内改修デザイン2軒については、令和2年度に補助金を交付して事業に着手する予定である。



まちなかおもてなし空間整備計画策定事業
(例：神戸市)



櫻井 秀美 議員



Hidemi Sakurai

11月1日辞令交付の理事就任は脱法行為に当たるのでは

▶ 全て法律の範囲内の手続きである

Q 10月31日に規則の公布をしたが、11月1日辞令交付の後11月26日に訓令31本、要綱9本の告示をしたが規則と同じ日、10月31日にすべきでは。

A 本来であれば理事就任までにすべての例規を整備することが望ましい。

Q 一般職の任期付き職員の採用及び給与の特例に関する条例第5条職員の任期を定めた採用の公正の確保はどのようにしたか。

A その職にふさわしいと私が評価した。

Q 一般職の任期付き職員の採用及び給与の特例に関する規則第3条で給料の号級は1から5号級までであるが何故4号給533,000円としたのか。

A 検討を重ねた結果4号が適当と判断した。

Q 一般職の任期付き職員の採用及び給与の特例に関する規則第5条で特定任期付き職員業績手当の基準日を12月1日としている。期末手当の支給も含めて決めたのでは。

A ボーナスの支給というようなことは念頭にない。

防災安全課の新設や荒川堤防の嵩上げ等の早急なる対応が必要では

Q この10年水災害が常態化し、地球温暖化による気候変動が顕著。防災安全課の新設が必要では。

A 危機管理係があるが名称についても今後検討していきたい。

Q 私の選挙公約で荒川の堤防嵩上げを挙げてきた。今年2月国土交通省水管理国土保全局治水課長に要望をしてきたが、市長の考えは。

A 河川改修は何としても必要。とにかく命を守るための取り組みを図っていきたい。



荒川堤防

● 議会レポート

■ 塩谷市町村議会議長会議

令和元年10月2日
10月21日
12月25日
塩谷管内市町(矢板・さくら・塩谷・高根沢)
・石岡 祐二 議長

■ 県市議会議長会議

令和元年10月8日
県内全14市
・石岡 祐二 議長
・岡村 浩雅 副議長

■ 全国市議会議長会研究フォーラムin高知

令和元年10月30日～31日
・石岡 祐二 議長
・岡村 浩雅 副議長

■ 視察等来訪

● 10月10日

茨城県大子町議会議員13名が「遊休農地対策・廃校利用の状況」について視察に訪れました。

● 11月8日

茨城県行方市議会広報委員会委員6名が「議会広報活動」について視察に訪れました。



茨城県行方市議会

● 11月19日

山形県川西町議会運営委員会委員7名が「タブレット端末の導入」について視察に訪れました。



山形県川西町議会

■ 監 査

● 例月現金出納検査

10月28日
11月25日
12月25日
・小堀 勇人 議員

● 定例審査

11月6・8・19・25日
・小堀 勇人 議員

● 財政援助団体等監査

12月25日
・小堀 勇人 議員

● 議会の動き

10月

- 2日 塩谷市町村議会議長会議
- 3日 市立中学校国際交流事業結団式
- 4日 塩谷広域行政組合議会定例会
議会広報委員会
- 7日 国立きぬ川学院大運動会
- 8日 栃木県市議会議長会議
栃木県市議会議長会議員および事務局職員研修会
- 9日 議員全体研修(～10日)
- 10日 茨城県大子町議会視察来訪
- 11日 議会広報委員会
- 14日 あおぞら・たいよう・わくわく保育園運動会

15日 議員全員協議会

- 17日 議会広報委員会
- 19日 福祉まつり開会式
- 20日 加須地域市民まつり
- 21日 塩谷市町村議会議長会議

25日 議会活性化特別委員会

- 議員全員協議会
- 26日 大田原市新庁舎グランドオープン式典
- 27日 瀧澤家住宅本オープン記念式典
- 28日 例月現金出納検査
- 30日 全国市議会議長会研究フォーラムin高知(～31日)

11月

- 1日 市戦没者追悼式
- 3日 市民体育祭秋季大会(氏家・喜連川地区)
- 6日 建設経済常任委員会行政視察(～8日)
定例監査
- 8日 定例監査
茨城県行方市議会視察来訪
「きつれがわサマーフェスティバル&花火大会2019」決算報告会
- 11日 議会活性化特別委員会

15日

- 議員全員協議会 議会運営委員会
- 議会活性化特別委員会 喜連川商工会合同懇談会
- 16日 JAまつり
- 19日 総務常任委員会行政視察(～21日)
定例監査 山形県川西町議会視察来訪
- 20日 文教厚生常任委員会行政視察(～22日)
- 25日 定例監査 例月現金出納検査
- 26日 台風19号による市内被災箇所現地視察
- 27日 中国浙江省武義県実験小学校児童歓迎交流会
- 29日 令和元年第3回定例会開会
議員全員協議会 議会活性化特別委員会
議会広報委員会

12月

- 1日 塩谷地区駅伝競走大会
- 2日 令和元年第3回定例会一般質問
- 3日 令和元年第3回定例会一般質問
- 4日 令和元年第3回定例会一般質問
市小学校駅伝競走大会
- 5日 文教厚生常任委員会
- 6日 建設経済常任委員会
- 8日 塩谷地区芸術祭70周年記念式典・講演会
- 9日 総務常任委員会
- 10日 知事への「令和元年台風第19号被害に対する支援に関する緊急要望」提出
- 16日 議会運営委員 議員全員協議会
令和元年第3回定例会閉会
- 19日 オーストラリア マレニーステートハイスクール生表敬訪問
- 20日 喜連川小学校開校10周年記念式典
- 21日 こども絵画展表彰式
- 25日 例月現金出納検査
財政援助団体等監査
法令外負担金審議特別委員会
塩谷市町村議会議長会議

日 時：令和元年 11月 26日(火)

今回の台風19号で被災された市民に対し改めてお見舞い申し上げます。
この度の台風被害を受け11月26日(火)に議員全員で市内被災箇所を確認しました。改めて被害の大きさを再認識し、防災減災の重要性を痛感しました。また11月29日(金)からの12月定例会初日において、この視察報告を行うとともに一日も早い復旧復興を執行部に対し強く要望しました。



台風19号による被災箇所現地視察

台風19号による被災箇所現地視察

さくら市議会全体研修会 視察研修

日時：令和元年10月9日～10日

詳細は
こちら→



▶地域活性化、商店街再生のヒントに 熱海市

熱海市は落ち込んだ観光客を取り戻すべく、2016年に「ATAMI2030会議」を発足させ地域資源を今一度見つめ直し、ヒト、モノ、コトが動き出す仕掛けづくりを行いました。また地域ぐるみの創業支援としてA-bizを開設し、リノベーションまちづくりと融合した創業支援を行っています。これらの施策は行政の補助金に頼らない、民間主導・地域主導のプロジェクトであります。

現在では、もとの証券会社を改装した店舗やもとのスナックを改装したアトリエ付きシェアハウスなどちょっとおしゃれな店舗が生まれています。



▶自主財源の確保 河津町

「河津桜まつり」のスタート時は3,000人の来場者にすぎませんでしたが、県内のテレビ会社を訪問し働きかけも行いテレビでの露出も増えました。その結果平成11年には100万人が訪れるまでになりました。平成30年度の調査では、来場者の消費支出額は「買い物・お土産代」18億4,200万円、「飲食費」9億1,300万円であり、桜まつり期間の経済効果は非常に大きいと言えます。

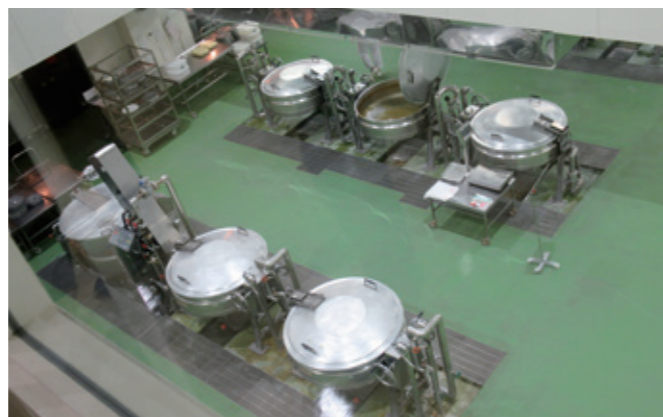
一方来場者が増え、駐車場やトイレ、交通渋滞などの問題も生じています。また地域外から出店する臨時商店も年々増加しているため条例での規制を行っています。これら商店から徴収する賛助会費や駐車場料金をライトアップの財源としています。



▶多機能型の給食センター 海老名市

「食の創造館」は、設計について市が基本・実施設計をプロポーザルにより業者を選定し、建設については神奈川県（企業庁）が実施いたしました。完成した施設は売買契約により取得し20年間の償還という手法がとられています。取得時の補助金等の財源は、国交省の「社会資本整備総合交付金」制度を活用しています。

この施設の特徴としては、災害時の炊き出し機能、幼稚園・高齢者への配食、会議室や調理実習室の一般開放などがあげられます。



総務常任委員会 視察研修

日時：令和元年11月19日～21日

詳細は
こちら→



▶交流人口増加を目指して 長野県小布施町

小布施若者会議は少子高齢化、人口減少が進む中、長期的な視点に立って若者をターゲットにまちづくりインターシップ事業（国土交通省補助金活用事業）を実施し現在までに6回開催しています。議題と企画目的は1年ごとに変え、成果と課題は①社会参加意欲や企業の認知度の向上②移住者・定住者の獲得③小布施町を知る若者ネットワークの全国、全世界への広がり④プロジェクト創造と継続性・実現性の課題があげられています。また、小布施町では訪れる人を観光客ではなく、来訪者と呼び、交流する人と考え人口の増加を目指しています。



▶「ごちゃませ」に暮らす 石川県輪島市



地方創生のモデル、社会福祉法人「佛子園」による福祉のまちづくりでは、市内にサービス付き高齢者向け住宅、障害者グループホーム、障害者短期入居住宅を「ごちゃませ」にし、温泉・カフェ・食堂・売店・ものづくり等を空き家を利用して起業し、地域の人と共存共栄しながら、多世代交流による健康づくりやコンパクトなまちづくりに取り組んでいます。現在全国で6ヶ所運営していますが、おばあちゃんの認知症の症状が改善する傾向が表れるなど予想もしなかった奇跡が生まれ、大変驚いていました。また、施設スタッフの方は、施設利用者の方が仕事をするときには制御するのではなく、信頼して任せることが大切だと話されていました。

▶SDGs未来都市 富山県富山市

「富山市SDGs未来都市計画」では2030年のあるべき姿として「コンパクトシティ戦略による持続可能な付加価値創造都市の実現」を目指す将来像とし、①経済価値②社会価値③環境価値の実現に向け優先的なゴールとして、持続可能な開発目標（SDGs）の17ある目標のうち、経済価値では目標9の産業・技術革新、社会価値では目標3の健康・福祉、環境価値では目標7のエネルギーを設定しています。また、これらの3価値をつなぐ統合的取り組みを①個別事業②全体マネジメント・普及啓発分の2つに分け、様々な検討・実証を行っているそうです。



文教厚生常任委員会 視察研修

日時：令和元年11月20日～22日

詳細は
こちら→



▶みんなが集える居場所づくり 山口県宇部市

平成25年度からの市単独事業で、①拠点整備重視型（事業開始するための初年度整備を行なうもの）②活動内容充実型（一定の基盤を有した団体に3年間運営を行なうもの）③ステップアップ支援型（更なる活動を充実を図るもの）ふるさと応援基金を財源として実施。その後、市社会福祉協議会に委託した市内サロン事業の窓口を一本化し、現在「生きがい対策」「なかまづくり」「介護予防・健康増進」の三本柱で実施。

今後は、新たな担い手の発掘や、より一層、子どもと障がい者など年齢や障がいの有無に関わらず集える場所にしたいとのことでした。



▶図書館を核としたにぎわいづくり 山口県周南市



JR徳山駅ビル跡地に図書館を核とした3階建ての賑わい交流施設を整備し、昨年オープンしました。1階にはスターバックスコーヒーやフルーツパーラー、蔦屋書店、2階にはキッズライブラリーや図書館、地元ブランド品の酒や醤油の販売コーナー、3階には市民活動支援センターがあります。駅前を含め、市内には5つの図書館がありますが、それぞれの役割がありライフスタイルに応じて、市民は使い方を分けています。

今後は、開発整備が終了するので、さらなる街中との回遊性を持たせたいとのことでした。

▶なければつくる「幸せます」 山口県防府市

「幸せます健康くらぶ事業」は厚生労働省の「健康寿命のばそうアワード優良賞」を受賞しています。日常生活支援総合サービスを組み合わせた防府市独自の介護予防と生活（買物）支援を一体的に提供するサービスで、市民や事業者のニーズを把握して、制度設計を行ない、国（各省庁）に提案し補助金を取得し、定期的な情報交換をしています。

今後は、職員と市民がより一体となって、超高齢社会の問題にいかに取り組むかとのことでした。



建設経済常任委員会 視察研修

日時：令和元年11月6日～8日

詳細は
こちら→



▶「あなたの空き家大丈夫ですか？」 鳥取県米子市

米子市は空き家対策計画を策定、「あなたの空き家大丈夫ですか？」空き家冊子の発行等空き家の流通の促進を実施し、空き家発生の予防を図っています。

令和に入って移住定住施策でない新たな「空き家バンク」の設置、「特定空き家等除去補助金」の創設、空き家等及び空住戸等の適切な管理に関する条例の制定、空き家利活用シンポジウムの開催、略式代執行の実施を行っているなど大変参考となる事例でした。



▶スポンサー制度導入 鳥取県境港市



境港市はオープンから20年以上経過した水木しげるロードの大規模なりニューアルの実施、歩道の大幅な拡幅、一方通行化、177体の妖怪、妖怪の影絵、ロード全体のライトアップ等魅力ある観光名所として成長しています。

平成5年7月にオープンした当時は、ブロンズ像23体、「妖怪なんて気持ち悪い」等順風満帆のスタートではなかった。しかし、現在年間270万人、経済効果270億円の大観光地になっています。

また、ブロンズ像の設置にスポンサー制度を取り入れたところ、多くの申し出に待ってもらっている状況で、人口3万5千弱の街でありながら、官民一体による観光地づくりは大変参考となる事例でした。

▶市内世帯数を上回る発電量 島根県出雲市

日本最大級の風力発電所を誘致したほか、木質バイオマス利活用促進のため、公共浴場への木質チップボイラーの導入による「エネルギーの地産地消スキーム」を構築する等、新エネルギーの普及啓発の推進、環境にやさしいまちづくり、地域経済の活性化を図っています。

また、市内の再エネルギー発電設備による電力量は、一般家庭に換算すると68,095世帯（平成31年3月時点）と、市内66,700世帯を上回っており、大変参考となる事例でした。



どうなったんべ あの質問は



議員が行った一般質問は、市政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から取り上げて、その後の状況をお知らせします。

お丸山公園の再整備

平成30年 第1回定例会
平成29年 第2回定例会
平成28年 第1回定例会

現状は…

平成23年3月11日の東日本大震災により被災したお丸山公園。

被災後、市はお丸山地区再整備基本構想とお丸山公園再生基本計画を策定し、平成26年度（第1期）から平成29年度（第4期）にかけて園路等の整備を行ってきました。

しかし、老人福祉センターやスカイタワーが建つ区域（第5期）の整備が半ばとなっていたため、平成30年度に老人福祉センターとスカイタワーの被災劣化診断調査を実施しました。その結果、両施設を再び稼働するには、それぞれに約2億円の修繕費が必要であるとの診断でした。



スカイタワー展望室から望む城址ゾーン



早春 城址ゾーンから望む



調査対象エリア

今後は…

老人福祉センターやスカイタワーが民間によって活用される可能性を調査するために、民間事業者から活用方法や意見を募集する「※サウンディング市場型調査」を実施することになりました。民間事業者から意見等が寄せられた場合はその概要を市ホームページ等で公表します。

※サウンディング型市場調査

公共財産を有効活用するにあたり、その活用方法について、広く民間事業者から意見、提案を求め、「対話」を通じて市場性等を把握する調査。

最終回

Road to renewal 議会だよりリニューアルの歩み

* プロセス *

- 1 「見やすさの見直し」
 - ・横書き
 - ・色使い、レイアウト、文字の太さ
- 2 「手に取ってもらえる表紙の見直し」
- 3 「議会をもっと身近に感じてもらえるような内容の見直し」
- 4 「リニューアルの方向性決定」



議会広報委員会では、1年間に渡り「議会だより」リニューアルをすすめて参りました。先進地視察などで学んだことも積極的に取り入れました。

- 写真愛好家の方による表紙写真で、さくら市のいい所を再発見できるのでは。
- 議会のあらましでは専門用語を多用せず、わかりやすくしては。
- 決まったことを掲載するのではなく、経緯の方が市民の知りたいことでは。など



視察先で学んだ「市民モニター制度」はさくら市でも取り入れてみたい！



結論



市民の声を拡大した「座談会」なども開催してみても？

「市民の皆様を巻き込んだ議会だより」を!!

市民の皆様の意見を掲載する機会を増やしたり、市民の皆様を巻き込むような企画運営を目指します！

「リニューアルの歩み」は一旦最終回となりますが、「さくら市議会だより」は今後も進化を続けて参ります。今後共よろしくお願い致します。

さくら市議会広報委員一同



市民の声

み びょう ち 未病治

た か ひ で よ し ゆ き
高秀 喜幸 (喜連川北)

私は喜連川で生まれ育ち「鍼灸」を学ぶため上京、様々な伝統医学に携わり34年が経ちました。

「未病治」をご存じでしょうか？ 病気が発症する前に養生し健康状態を維持することですが、日々の生活が忙しく、病気に至る「違和感」「変化」を見逃していませんか？ 定期健診による数字の変化だけではなく、痛み、だるさ、こわばり等の症候は身体からのサインです。もう一つ「こころ」が重要で、病気には必ず心的要素が絡みます。現代は生活習慣病、心の病が増えています。生活を見直し、思考の転換を図り、十分な休養と手当を施し病気に罹らない、ストレスのない快適な毎日を通しましょう。幸いさくら市には温泉やスポーツ環境が整っていますので、心身の保養と鍛錬に活用されてみてはいかがでしょうか。

今私は、栃木県鍼灸師会会長として栃木県の鍼灸を守り、県民の健康保持と普及、後進の指導に全力で取り組んでいます。



鍼灸人形

お知らせ

次回 3月定例会予定

2月26日(水)～
3月18日(水)

◎正式な日程は、後日開催する議会運営委員会にて決定いたします。

- **議員年金について**
平成23年6月1日をもって廃止されました。
- **政務活動費について**
さくら市議会では支給されておりません。



《表紙写真撮影》

渡辺 大地さん

(市内在住)

撮影場所：八方口地区

結婚祝※1



地域の運動会・スポーツ大会への飲食物等の差入



お祭りへの寄附・差入



町内会の集會・旅行等の催物への寸志・飲食物の差入



みんなで徹底しよう
三ない運動

贈らない!

求めない!

受け取らない!

これらのものも、政治家の寄附禁止の対象となります。

落成式・開店祝等の花輪



病氣見舞



お歳暮・お年賀



入学祝・卒業祝



葬儀の花輪・供花



香典※2



※1 政治家本人が結婚披露宴、葬式等に自ら出席してその場で行う場合は罰則が適用されない場合があります。
※2 議員の初盆での御香典や寄付は、公職選挙法により禁じられています。

議会広報委員会



高瀬 一徳

石原 孝明

笹沼 昭司

吉田 雄次

鈴木 恒充

福田 克之

◎岡村 浩雅

◎大河原 千晶

櫻井 秀美